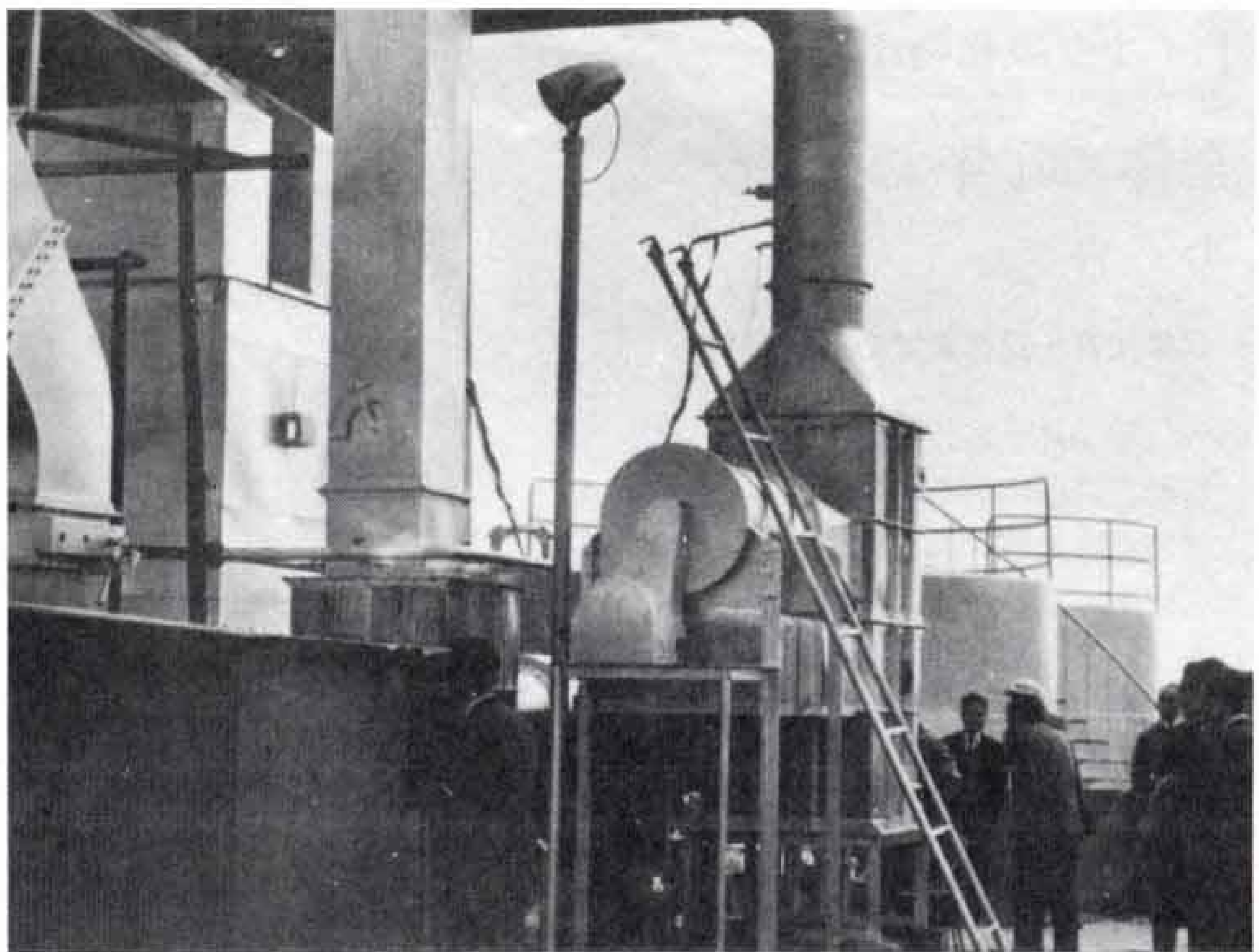


排煙脱硫装置をテスト

神工式(富久興製紙)と日比野式(天間製紙)

され、現在その効果調査が行なわれています。プラントが富久興製紙と天間製紙にさきごろ設置されています。このうち、排煙脱硫のパイロットプラントによる拡散、排煙脱硫を三本の柱に施策をす市は大気汚染を防ぐため、重油の低イオウ化、高



【天間製紙に取り付けられた日比野式排煙脱硫装置】

この排煙脱硫装置は、県、市、業者が協力してつくったものです。

富久興製紙に据え付けられた排煙脱硫装置は神奈川県工業試験場で開発したもので「神工式排煙脱硫プラント」と呼ばれるものです。

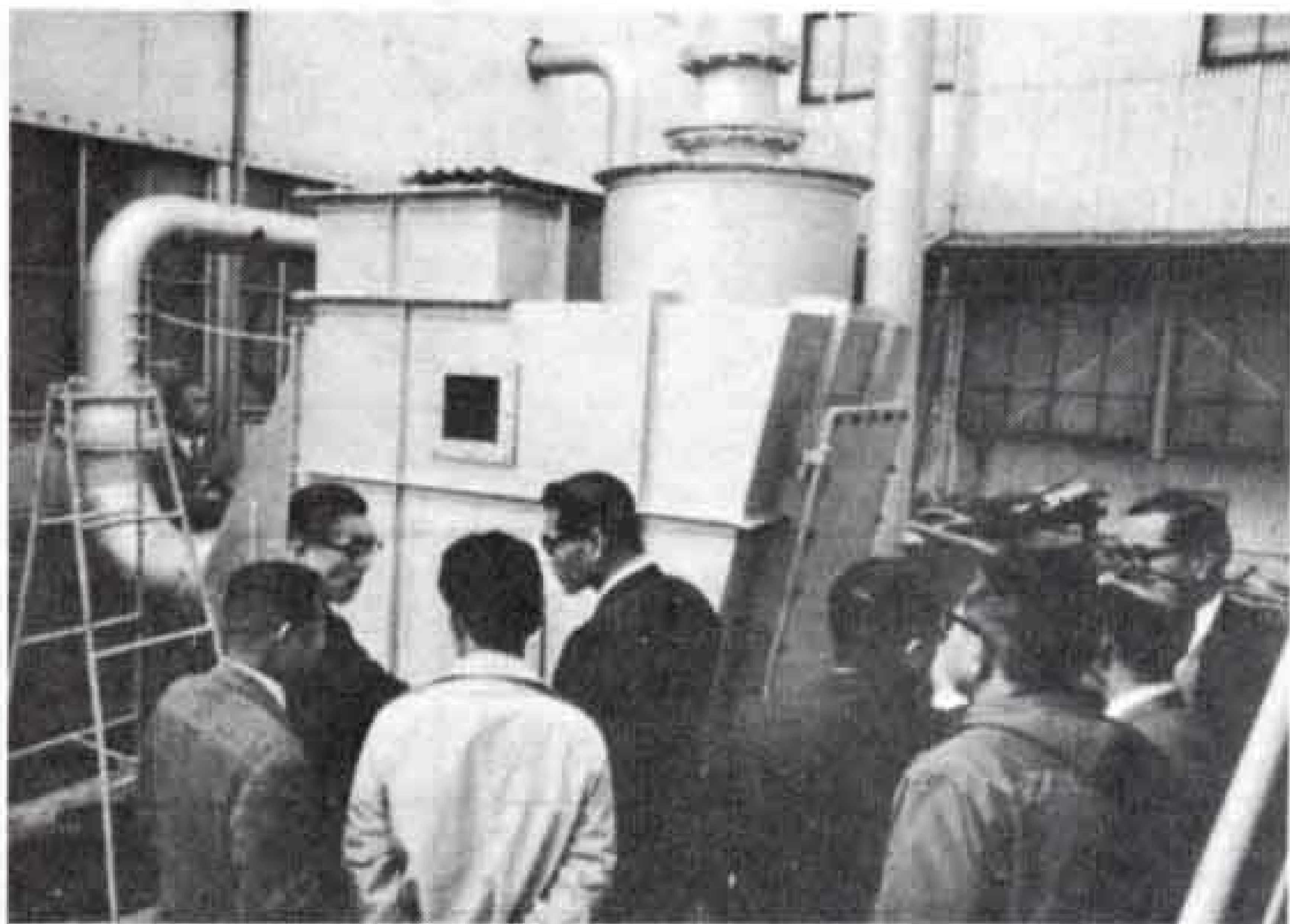
処理能力は毎時1500立方メートル。特徴としては製紙の汚水を利用することです。まず、網目のようになつた幾重もの水膜の中を排ガスを通し、亜硫酸ガスを取り除きます。亜硫酸ガスを取り除いた排ガスは煙突によつて大気に放出するという間接脱硫法です。

天間製紙に据え付けら

れたのは日比野郷三さん(東比奈)が開発した「日比野式排煙脱硫装置」です。この日比野式も工場排水を利用する方法で、汚水の中に排ガスをジェット噴流し亜硫酸ガスを取り除きます。処理能力は毎時5000立方メートル。

効率は相方とも60%から80%の亜硫酸ガスを吸収できるといわれ、しかも、製紙汚水を利用でき、アルカリ排水を中和できるなど一石三鳥の効果が期待されています。

なお、この装置がどれだけ脱硫効果があるかという調査のほか、長期運転性能テスト、経済性の検討などを総合的に調べています。3月末までに調査資料をまとめますが、期待どおりの効果があれば各製紙工場に増設することによつて、亜硫酸ガスの大幅な減少が見込まれます。



【富久興製紙に取り付けられた神工式排煙脱硫パイロット・プラント】

くすのき学園の園児を募集

精神薄弱者の通園授産施設「くすのき学園」が4月1日に開園しますので、市福祉事務所は入所希望者を募集をしています。(関連記事は1頁に掲載)

■対象は

- ・市内に住んでいる満15歳以上の男女
- ・自分の身の回りのことや軽作業が

できる人

- ・いろいろな事情で家庭にいる人
- ・通園できる人(一定の場所までマイクロバスで送迎します)

■作業の内容は

- ・ゴミ袋などの袋張り

- ・ステアリングなどの袋詰め

■特色は

- ・給食設備があります
- ・作業報酬が支給されます

■申込み先は

市福祉事務所児童係(吉原事務所 電話52-3111)

■申込み期間は

昭和45年2月28日まで

2月28日までに申込みを